別海町立野付小学校　学校便り

三角帆

◆発行責任者　校長　青坂信司

◆発　行　日　平成２４年８月２１日

平成２４年度学校テーマ「学び続ける学校」　第６号

「いじめの芽」を早期に発見し対応します

校長　青坂　信司

◆昨日８月２０日から第二学期が始まりました。この夏休み、大きな事故・事件もなく、みんな元気に登校してきました。（体調が悪くお休みしてしまった子もいましたので、残念ながら「全員登校」というわけではありませんでした）

◆夏休みの間、１学期の取り組みの反省を踏まえて、もっともっと野付小をよくしていくためにはどうしたらいいのかを考えていました。校長としての「宿題」でした。やるべきこと、改善すべきことはいくつかありますが、その中で２学期を始めていくにあたって、みなさんにお知らせしておきたいことがあります。それは「いじめ」問題についてです。

◆毎年、１２月頃に学校評価というのを実施しています。保護者の皆様方からもご意見やご要望を承り、それを学校として検討し、改善策を立てています。（保護者の皆様のご意見・ご要望について、またそれらに対して学校としての回答は文書にして昨年度末に配布させていただいています）

◆その中で、昨年度、保護者の方から次のようなご意見をいただきました。

【生活指導】
クラスの中で、言葉のきつい言い方をする子やいじわる的なことをするような子がいることを聞くので、生活の面でも目を配ってあげてほしいなと思います。そういったことにも、もう少し指導をしてほしいと思います。

◆これについて以下のように回答させていただきました。

【学校から】
担任は、授業時間以外も子ども達の様子に注意を払っておりますが、授業の準備等もあり、決して充分ではありません。ですから、お気付きの点がございましたらご連絡いただき、保護者の方と一緒に解決にあたります。

◆学校での取り組みは、アンケート調査の実施、休み時間や授業時間中における子どもたちの様子の観察、そしてそれらを踏まえながら年２回の一人ひとりの子との面談・相談会の実施を行っています。例年、以上のような取り組みを行ってきましたが、決してそれで完全だということではありません。どうしても、見過ごしてしまうこと等があります。ですので、保護者の方からご指摘いただくということは学校側としても大変助かることです。

◆保護者の方から、もしくは子どもの側からいじめ問題を先生たちに伝えるということは、大変勇気のいることです。私が中学生・高校生の頃、先生に何かを伝えるということは「チクル」と言って「卑怯な奴だ」と言われていました。しかし、今の時代、いじめに関して教師に連絡するということは、決して卑怯な事ではなく、反対に勇気ある行動なのだと私は考えています。ですので、遠慮せず心配な事、不安な事がありましたら担任もしくは教頭や校長にご連絡ください。また、このいじめ問題は決して学校だけで解決できるものではありません。保護者の皆様方のご理解とご協力があって、効果が上がります。

◆さて二学期、全ての子どもたちが安心して野付小に登校できるように、今まで以上に「いじめ問題」に対応していきます。そのためにまず「いじめの芽」をできるだけ早期に発見することです。全国的なニュースになっているいじめに関する「大きな事件」は、ほとんどが最初何気ない「いじめの芽」を発端としています。その考えに立って、野付小では、教育委員会等が実施する調査とは多少違ったアンケートを定期的に実施することにしました。それが以下の項目です。

①「お金をだせ」といわれて、とられたことがありますか。
②「おごって」といわれて、むりやりおごらされたことがありますか。
③わけもなく、なぐられたり、けられたりしたことがありますか。
④先生や大人がいないところで、いやなことをされたり、悪口をいわれたりしたことがありますか。
⑤「そうじをやっておけ」とか「かたづけておけ」とか、仕事を命令されたことがありますか。
⑥遊びの時、なかまはずれにされたことがありますか。（人数にかぎりがあるときはしかたありませんね）
⑦「ことばをしゃべらない」「なかまにいれない」などの無視をされたことがありますか。
⑧「〇〇さん」「〇〇くん」と遊ぶのをやめようなどと、仲間はずれのことを話し合ったことがありますか。
⑨クツやエンピツなどをかくされたことがありますか。
⑩「それをかせよ」「これかりるよ」などといって、自分のものを持っていかれたまま返してくれないことがありましたか。
※学年の発達段階によって、若干設問項目が変更になることがあります。

◆このアンケート調査や日常の中で「いじめの芽」が発見された場合、学校として次のような対応をします。

◎１～２回目
ふざけ半分やお互いの誤解がある場合もありますので、担任が事情を子どもからよく聞くことを原則とします。基本的に、この段階でご家庭に教師側から直接連絡することはありません。

◎２～３回目
ケースにもよりますが、担任だけでなく指導部長・教頭が、該当の子どもや周りの子ども達からも事情をよく聞き、事実確認をし、指導します。

◎３回以上
「改善が見られない」「悪質だ」という場合は、学校とご家庭が一緒に解決するために、保護者の方に来校していただくか、家庭訪問をさせていただき、事実関係等の事情を説明させていただきます。

◆なお左記のアンケートを実施した場合、保護者の皆様に、この学校だよりで結果をお知らせしていきます。結果をご覧になって、心配な点等がありましたら、遠慮せず担任か私校長にご連絡ください。

◆まず今学期は、８月中に「生活に関するアンケート」（別海町生徒指導連絡協議会）を実施いたします。その上で、以下の個人面談を実施いたします。

子どもと担任教師の個別面談週間

８月２７日（月）～８月３１日（金）

◎すべての子が楽しく学校で過ごせるために、一人ひとりの子どもから担任教師が話を聞きます。生活面だけでなく学習面も含めて、心配な事・嫌な事等がないかを聞くことで、その子にあった支援策を考えていきます。

良好な人間関係を築ける力の育成

◆小学生は未熟な点が沢山あります。失敗も間違いも数多くします。問題なのは、失敗や間違いを恐れて、あらゆることに消極的にさせてしまうことです。それより、あらゆることに挑戦させながら、周りの人たちの支えられながら、失敗や間違いを乗り越えていく力を育てることが大切だと考えています。今年度、野付小では「つながる力」の育成を重点として教育活動を進めています。この「つながる力」がついてくると、いじめ的な問題も自然に無くなっていくと考えています。今学期もよろしくお願いします。